

平成23年度熊本県消防協会玉名郡支部の研修

熊本県消防協会玉名郡支部では、支部事業として1年の折々に様々な階層の消防団員向けの研修会を開催しています。今年度は年に3回、以下のとおり開催しました。

○ 夏

◇幹部団員研修

日時：平成23年7月24日（日）

場所：ホテルセキア（玉名郡南関町）

対象：幹部団員（概ね分団長以上）

内容：有明広域行政事務組合消防本部の職員から東日本大震災支援の報告がありました。その報告で、大規模災害時の消防団の役割として「即時対応力」を期待されており、災害発生初期の対応が非常に重要とのことでした。

また、大規模災害時の「トリアージ」（負傷した人の状態を判別し、優先的に搬送・治療する人を決定すること）について、説明を受けました。

東日本大震災という未曾有の大規模災害に派遣された職員からの話は臨場感にあふれ、あらためて身が引き締まる思いがしました。



有明広域行政事務組合消防本部
の職員の報告と説明その1



有明広域行政事務組合消防本部
の職員の報告と説明その2

○ 秋

◇ 団長主任研修

日時：平成23年11月25日（金）～26日（土）

場所：大分県大分市

対象：消防団長、消防主任

内容：大分市消防局の状況や様々な取組みなどを意見交換しました。大分市では学生（小中一貫校で高学年）を対象に「かた昼消防団」を実施しています。これは大分の方言（＝半日消防団の意）からきており、消防団の活動を体験することで消防団活動への理解と将来の団員育成を狙っているものです。

また、J X日鉱日石エネルギー(株)大分製油所では、企業防災活動について説明を聞きました。



大分市消防局との意見交換



J X日鉱日石エネルギー(株)
大分製油所での説明

○ 冬

◇女性消防団員研修

日時：平成24年2月26日（日）

場所：あらおシティモール（荒尾市）

対象：女性消防団員

内容：当圏域では、荒尾市、玉名市、玉名郡の3つの支部で女性消防団員向けの研修を合同開催しており、今年度は荒尾市で開催されました。

日赤熊本健康管理センターの講師から、三角巾を活用した救急法について講義を受けました。その後、実際の人を使って災害時の傷病者の搬送方法についての講習を受けました。

また、各市町女性消防団の活動について、報告と意見交換が行われました。



救急法の講義中



活動報告と意見交換